

人間をつなげる

ART-BOND

創刊号
2014.5.12

『人間展2014』へ向けて

— 参加作家のアクティビティ —



作品が出来上がる前に皆さんそれぞれ過程があると思います。
私の場合は、1、まず紙で立体を作り、2、次はベニア板で、3、石膏を塗り、4、サンドペーパーをかける。5、3,4を繰り返す。夢中になって作っていると、飼っているインコが作品にやきもちをやきます。籠から出すと一直線に作品に向かい、どんな奴か確かめに來ます。まず飛び乗り、かじり、最後はテーブルから蹴り落とし、勝ち誇った顔で私の肩へ飛んできます。
そんなワンシーンが私の作品過程にはあります。 今井 友恵(東京)



映像表現の世界には、まだまだ無限の可能性があると感じます。新しい投影技術やメディアソースの進化、平面から立体、液体、空間に至るまで、実に様々な表現が日々生まれています。その中で、過去の技術は古い、ダサイと言われるのもメディアアートの宿命。けれど、振り返ってじっくりみると、やはり面白いものは面白いんだ！そんな作品を作れたらと構想妄想をしながら、合わせ鏡の世界をテーマに、私にとって初の展覧会出展になる人間展に向け、きらきらとした緊張の中で製作をしています。太智花 美咲(筑波大学芸術専門学群2年次)



Voici quelques photos d'une belle aventure plastique, théâtrale, numérique et musicale. Apinouilleur à tous et 2014 étonnements, joies et curiosités! Ivan Siig



mako 右下 誠(広島)

ある晴れた日のこと、子供たちに集まってもらい空の下で一緒にお絵描きをしました。
一つのキャンパスにみんなで手形を取って色をつけていきます。そこにはひとりひとりの発想や表現が溢れており、その自由な世界は微笑ましいばかりでなく、すっかり感心させられています。



素材としては、以前読んでしまいこんであった書籍です。これを使って自分、家族そして人間のつながり、関係性を表現してみようと考えています。試作品はいくつか制作しましたが、どうか検討していて、この段階が苦しくも楽しい時期でもあります。
岩間 正明(神奈川)



▲ アイデアスケッチ

人間の本質とは何かを考えた時、人間は欲があるから苦しむ。しかし、欲があるからこそ人間であると言えないだろうか。現在の自分を見つめ直す意味を込め自身の手をデッサンした。欲で苦しむ一個人、一人間として作品化している最中。
渡部 憲一(愛媛)



人間の内に秘めた『目に見えるカタチ』にし感性美人を描きます。また、時に人間は「相手を想い上手く言葉に出来ない」一方「発せられた言葉から人物を想像する」など、人間らしい部分を表現します。
川上由理子(兵庫)

期待してます

支援メッセージ

陶芸の釉薬に使ったり、温泉の固まる成分を利用し、いろいろな固形品を温泉コーティングしたりと、造形に対して試行錯誤しながら楽しみました。また、里山のボランティア活動を通じて、人間の存在をはるかに超えた世界があるのかと実感いたしました。自然界には連鎖というくみか、うまく機能しているのだと思いました。今まさに人間を見つめなおし、それを具現化して作品を作られる方が、よりよい人間社会の創造に寄与する時代だと思っています。人間展協会は堀内氏の哲学的考察から生まれ、世の中の既成概念を改革していくこと、人間展協会の趣旨に賛同し、今現在活躍の芸術作家の人たちが、人間という原点を振り下げていく中で、世の中を元気づけようとするアプローチに対して、微力ながら応援させてもらっています。私は、和歌山市にある天然温泉花山温泉に従事し、自然のエネルギーや自噴圧の強さ、炭酸ガスの白い泡、湯船に織り成す炭酸カルシウムの黄土色の結晶、自然が作り出す見事な造形を日々見ながら。自然の大切さを実感いたしました。その後、温泉スケールが成長につながると信じています。また、賛同し参加していただける方は、自分の協力できる範囲で、大いにボランティア精神を発揮していただき、共に語りながら人間展グランプリを成功に皆様とともに歩んでいきたいと思ひます。

中村 源吾(花山温泉薬師の湯)

創刊にあたって

フリーペーパーART-BONDの役割

BONDはモノとモノを引っ付ける接着剤の意です。アートによって繋がる、結合するとの思いを込めて誕生したフリーペーパーです『人間展』も、早いもので6年目にして2回展を迎えることが出来ました。いろいろな方々からの応援を頂いたことに感謝の気持ちでいっぱいです。これからも更に努力して参ります。インターネット華やかな時代、その反面いろいろな理由で、その環境を持っていない人も人間展には参加しています。仕事で時間のない中、作品作りに時間をこじ開けるようにしている人には必要ないかも知れない。情報の海の中で泳ぎ疲れて、コミュニケーションの方法を考えている人もいます。その様なことを感じながら、芸術と社会の理想的な融合を実現するためには人間主義に立つ多様な芸術分野とのコラボレーションは不可欠と考えています。今後大切なことは、夢や希望を共有して、じっくり対話や交流を可能にすることです。そのためには、アナログな”紙モノ”も必要な気がします。創作する上での苦勞や発見、研究成果の発表、多様な意見の交換等、お互いの成長に繋がる内容にしたい。

“ものづくり”の呼吸が感じられる、人間展の活動を紹介するフリーペーパーとなることを願っております。尚、ART-BONDの配布先は人間展への出展作家をはじめ、支援者、美術系教育機関及び指導者、ギャラリー美術館、文化施設等です。ART-BONDの充実が『人間展』の成長となるように、何卒ご協力よろしくお願い致します。

人間展協会代表 堀内健二

ART-BONDの原稿大募集!

随時受付しております。宛先は編集室
メールアドレス: ra43852@rd5.so-net.ne.jp

編集室から

編集スタッフ一同原稿を読ませて頂き皆様の作品の制作のご苦勞や喜びを肌で感じる事が出来、8月の人間展開催を楽しみにしております。ART-BONDに対し、多くの参加アーティスト、スポンサーの方々から寄稿を頂き心から感謝申し上げます。

紙面編集の都合により、全ての原稿を掲載することが出来ず、何卒ご理解の程を宜しくお願い致します。

編集室 大久彪

期待してます

優れた分析力と創造性により、有意義で魅力的な幻想を世の中に生み出し、動物である「人」と「社会」の価値観の差異を埋めて結び付け、人々の心に安定感をもたらしてくれるのが「アート」だと感じています。「人間展」が広く社会に密接な形で受け入れられ、アートにより、より多くの人の「あえぎ」が解消される事を願っています。そして、この「アートボンド」が、活発な意見交換の場となる事を期待しております。

福岡 勝久 (Gallery H.O.T)

彫刻家堀内健二氏が現代アートに対する日本での閉塞感に発奮、たぎる情熱から立ち上げた人間展。芸術による社会活動への第一歩を称賛し、二回展のさらなる成功を期待しています。

木村 進 (株式会社パジコ)

アートと歴史

私は中国古代史を専攻しています。30年前に、台北の故宮博物院にて殷代に製作された青銅器の最高級品(と思われる)を見て、びっくりしたことを覚えています。深い敬虔なる祈りのようなものがなければとてもあの風格を生み出せるものではなく、また、文化は必ずしも時と共に進化するものではないと感じました。人々の内面の昂揚によって、その時代のピークが形成されるものなのだ、と。人間展に参加されるアーティストの皆様方により、21世紀アートのピークが築き行かれることを、心よりお祈りいたします。

若江 賢三 (愛媛大学教授)

重要なお知らせ

出展作家の皆様へ

本年7月に、21世紀美術館と展示についての最終打ち合わせを実施します。出品作品の内容をもとにして、具体的な展示の検討が行われます。

そのために、既にお送りしている**作品概要(展示計画用)**の用紙が必要です。6月末日までに必ずご返送(郵送)下さい。

送り先: 愛媛県松山市北斎院町1150-26

人間展協会 堀内健二

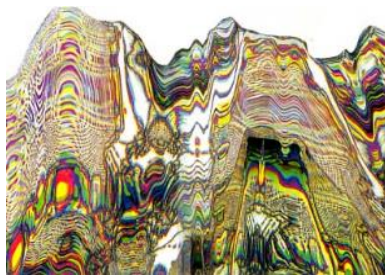
『人間展2014』へ向けて

— 参加作家のアクティビティ —



私の絵画は自分の人生の写し鏡のようなものです。そして、制作するキャラクターは私の分身でもあります。

アーナー恵子 (宮崎)



コピーアート「満山清香」

原図を動かしながらカラーコピーすると、歪性の意外性とモアレによる虹色が発生して無数の画像が得られます。

中山 暎造 (長崎)



汝(子)らよ 暗き産道をよじ登れ 逆流し 太古の平安を思い出せ はじまりのはじまりに在る光を思い出せ やがて光は玉となり やわらかき胎盤となる 生まれよ 新しき人よ 目ざめよ そして 生きよ 白き龍「幕間」によせて 奈良幸琉 (東京)



人間展2014ボランティア大募集!

作品の搬出入業務・ネームカード制作
ネームカードは自宅で作れます。
問い合わせは編集室までお願いします。

03-3529-5331

自画像というテーマ
どんな切り口でやっていくか考えています。普段、自分がテーマにしているのと違うのでやや難しいのですが、少しずつ初めていきたい。

浜地憲章 (大阪)

「絆の橋を強く創ってこう 樹を植えつづけるマータイさん 信念を貫徹し続けるマンデラさん 夢とロマンを与えてくれるSAHARAとピラミッドたち 虹の大陸AFRICAよ! 人類のルーツAFRICAよ! いつも心の中には お互いの血が通い合っている!!」

中尾精后(福岡)

青空ギャラリーへのお誘い

楽しんでいたら、自分でこぼれようを合言葉に、作品をみてニカ丸公園に集結〜!(絵1点でもいいよ)自分で作り、自分でプロデュースし、自分で管理料という自己完結性をもつ、1つの大きなアート空間を実現しよう。独創性に溢れる作品(絵画にどきどき、貴方の創造を何らの形でも表現出来るものであればOK!!)が公園いっぱいになるのを、楽しみにみて。



釘本浩志 (熊本)

①人間展2014作品を制作中の様子、エピソード等
人そのものが醸し出す感性や力は、底知れない。自己表現する/しないに関わらず、私が生きる此の世界は多種多様な人で構成されている。美術というフィルターを介し、23歳の私の立ち位置が、どうなるか、何に根づくかという問いを重ねるにつれ、逆説的な他者が判然とする。日々誰かと出会い話し合う中で、心理的な壁が会談となり、身体を空へ広げて行く。この外側と意識させる血の通った対話こそ、アート固有の輪郭言語である。



寺尾 忠 (愛知)

